



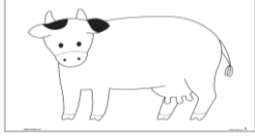
# 4歳児クラス 5月 第1回 「くいしんぼうのはなこさん」

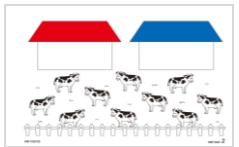
保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「もぉー、皆さんこんにちは」はなこさんのペープサート登場。</li> <li>自己紹介や名前の由来などを話しながら、お話に興味を持たせてシアターに繋げる。</li> </ul>	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> <li>ペープサート</li> </ul>	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「うもおう…」「おなかが いっぱいで…」など、小さい文字で書かれているところは、か細い声で弱々しい表現で読む。</li> <li>②「みんな ちょっと おまち!」と威張る場面では、力強くたくましい声のトーンで、はなこさんの心情を表現しながら読む。</li> </ul>	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ペープサートで登場する</li> <li>会話をする</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	ことば	自分の考えを話すことができる	
設問	<p>絵本や映像(カボチャを食べようとしている場面)を見て、はなこさんはカボチャを1人で食べてしまいました。本当はどうすれば良かったと思いますか。自分の考えをお話しましょう</p>		
講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「はなこさん、どうなるかと思ったね…」</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「でも、ほんとははなこさんはどうすれば良かったんだろうね」「皆で、考えてみよう」等で、場面を見せながら話しあったり、発表したりする。</li> <li>友だちの話をしっかり聞く。(友だちの意見を聞くことで、いずれは自分の言葉で伝えることが出来るようになる。)</li> <li>ストーリーの中で理解することが難しい場合には「例えば〇〇先生がここにあるおにぎりを全部食べちゃったら…」など、身近な人に置き換えて話をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul>
			保育士の役割
活動②	巧緻性	折り紙をちぎり、自分なりのはなこさんの模様を作る	
設問	<p>折り紙をちぎってはなこさんの模様を作りましょう</p>		
講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「もぉー 皆さん、ご心配おかけました。もう独り占めしないもぉー」プリントのはなこさん登場。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「そうだね、はなこさん…」「あれ? はなこさん体が真っ白だよ」</li> <li>どうしたら良いか皆で話し合う。(クレヨンで描く、絵の具で色を塗る)等</li> <li>講:「先生、今日はこんな物を持ってきました!」折り紙提示</li> <li>折り紙をどのようにするか皆で考える。(例:丸める、切る…道具、そのまま貼るなど)</li> <li>指先でちぎることを伝える。線を目安にちぎることに挑戦する。(ちぎった折り紙は皿に入れていく)</li> <li>ちぎれたら、スティックのりで貼る。</li> <li>皆ができたら、展覧会をして称賛する。(自分の牛の名前を考えるのもよい)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>P1</li> <li>おりがみ(黒・1/4・線有)</li> <li>スティックのり</li> <li>皿(折り紙を入れる)</li> </ul>
			保育士の役割

<b>活動③</b>		<b>数</b>	10の操作が出来る	
設問	牧場にいるウシたちを同じ数ずつ小屋に入れるには、何頭ずつ入れればよいですか。小屋の中にその数だけおはじきを置きましょう			
準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「おうちに帰りたいもー」 提示用プリント 提示</li> </ul>			教材 提示用プリント P2 おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「どうしたのかな？」等で受け取る。</li> <li>講: プリントに耳を傾けながら「なにになに？ うんうん…お家にかえりたいの？」等話を進め、同じ数ずつお家に帰ることを伝え、まずは「牛が何頭いるか数えてみよう」と繋げる。</li> <li>同じ数ずつお家に帰るので、牛の上におはじきを1つずつ乗せて「赤（いお家）に1つ、青（いお家）に1つ」と言いながら10個のおはじきを操作する。</li> <li>何頭ずつ小屋に入れたか確認し、称賛する。</li> <li>10個のおはじきが入っている皿から5個取る（今月の数チャレになります）取れたら、皿に戻す。</li> <li>時間に余裕があれば、それぞれの部屋に〇を書いてみるのもよい。</li> </ul>			保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>プリント提示</li> <li>皿を配る</li> <li>子どものフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>

<b>数チャレ</b>				教材
設問				
内容	※今回は活動③で実施			保育士の役割

■出来たかな表

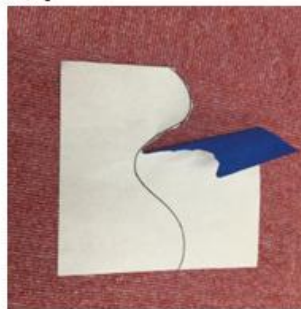
【活動内容】	【ポイント】
シアター	長い話に集中させることが出来たか
活動①ことば	子ども達の考えを引き出す質問や言葉かけが出来たか
活動②巧緻性	ちぎり方の指導が的確に出来たか
活動③数	1つずつ移動させる見本をきちんと行ったか
数チャレ	活動③

楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・巧緻性 \*\*\*

ちぎってみよう

1. 折り紙や紙に鉛筆やペンで好きな線を引く。
2. 人差し指と親指で紙を掴みながら線をちぎる。
3. 台紙等に糊で貼って模様にする。



ちぎる線を真ん中にして、両手の指先を近づけるようにするとちぎりやすいですよ。



今月のえかきリズム

\*\*\* にんじん \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

